

新 役場庁舎 消防庁舎 基本設計が完成しました



供用開始は令和8年秋頃を予定

概算事業費 約33億円

・役場庁舎本体工事	11億8,300万円	－財源内訳－	
・消防庁舎本体工事	6億1,900万円	・国・県等交付金・補助金	6億1,000万円
・車庫、倉庫、外構工事	10億6,500万円	・庁舎建設基金	6億7,400万円
・その他	4億4,100万円	・起債	18億3,010万円
(設計・備品・システム移設費など)		・一般財源	1億9,390万円

※事業費、規模、レイアウト、外観などは、今年度進める実施設計において、詳細を設計するため、変更する可能性があります。

新役場庁舎の設計基本方針

◆利便性の良い庁舎

【分散する庁舎の集約化】

- ・現在の役場、げんきかん（村民生活課）、中央公民館を集約するとともに、村民利用の多い窓口である戸籍、住民票、税関係をはじめ、年金、保険、福祉、水道、土木、建築などを1階正面に配置し、サービスをワンフロアで受けられるようにします。

◆全ての人が利用しやすい庁舎

【村民の交流拠点としてにぎわいのある「明るい庁舎」をつくります】

- ・分かりやすい室内表示、多目的トイレ、授乳室など、誰もが安心して利用できる庁舎にします。
- ・内装、建具、家具などにできる限り木材を使い、ぬくもりが感じられる心地よい場所にします。
- ・会議室や研修室を誰でも利用できるように多目的化するなど、柔軟性のある建物機能にします。

◆防災機能拠点を担う庁舎

【高耐震構造により震度6強の地震にも耐えられる「防災に強い庁舎」をつくります】

- ・令和3年8月の豪雨災害を教訓に、災害対策本部室やリエゾン室、自家発電設備や防災備蓄倉庫などを設け、万が一の災害に即座に対応できる、村民を守る庁舎をつくります。

◆村の財政と環境に配慮した持続可能な庁舎

【建築面積を抑えたコンパクトな庁舎をつくります】

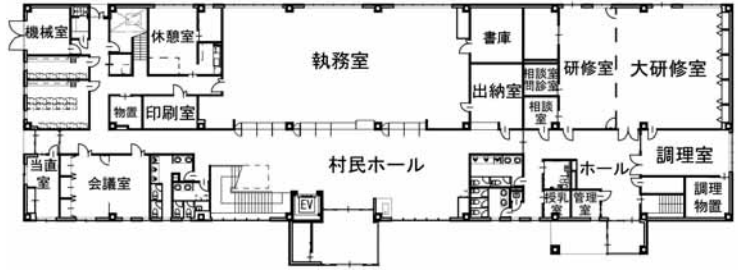
- ・議会関連諸室を防災関連諸室に、研修室や会議室を健診など多目的に使用できるように、各室を兼用することや、庁舎本体をシンプルな四角形にしたり、LED照明など省エネルギー設備を積極的に採用し、ライフサイクルコストを抑え、村の財政に配慮します。

平面計画

1階 約1,287㎡

【窓口・地域交流スペース】

- 入口近くにエレベーターと階段を配置し、来庁者がわかりやすい動線にします。
- 住民票や税、福祉、水道など村民利用が多い窓口を集約します。
- 研修室は公民館としての活用のほか、集団健診・ワクチン接種など多目的に使用します。
- プライバシーに配慮したカウンターや相談室を設けます。



1階平面

2階 約1,055㎡

【執務・議会フロア】

- 村長室、教育長室、総務課、企画政策課、教育委員会のほか議会関連室、会議室を配置し、事務機能を集約します。
- 1階からつながる吹抜け部分からの自然光により、明るく開放感のある空間とします。



2階平面

新消防庁舎の設計基本方針

【確実に、迅速に、臨機応変な消防活動】

大地震動後、建築物を補修することなく使用でき、人命の安全確保、十分な機能確保を図ることを目標とし、大規模災害時にも確実かつ迅速に活動機能を維持できる「強い庁舎」をつくります。



1階平面



2階平面



供用開始は令和8年秋頃を予定

平面計画

1階 約553㎡ 2階 約382㎡

【署員も団員も迅速な出動態勢の構築】

事務室と災害対策室を集約、消防活動の核となる救急車ガレージと車庫等を集約し、執務空間と出動空間を明確に分離して、使いやすい庁舎にします。

プライバシーに配慮し、男女の仮眠室を分離します。

分署長室と団長室を併設し、消防団会議室や消防団倉庫等を設け、消防団においても利便性が良い庁舎にするほか、会議室を講習の際に使用したり、屋内訓練室として併用するなど、可能な限り建築面積の圧縮に努めます。

新庁舎に対する意見や問い合わせはいつでも受け付けておりますので、庁舎建設担当までお寄せください。

【お問合せ先】

風間浦村 総務課（庁舎建設担当） ☎ 0175-35-2111